

美馬市立木屋平幼稚園：学力向上プラン

1 学力向上推進員 職・氏名 ()

2 園内検討会の組織構成

職 名	氏 名

3 現状・課題

- 本年度は、3歳児女児2名、5歳児女児1名、計3名の混合1クラスである。3歳児1名は5歳児の妹である。小規模園であるため、友達関係も固定化され遊びにおいても刺激が少なく、遊びに偏りが見られることが多い。また少人数で、鬼ごっこやリレーなど、遊びの中で楽しみながら体を動かす遊びが継続できにくい等の課題もある。
- 隣接する小・中学生との交流は盛んであるが、同年代の子どもたちと関わる機会がないため、同年齢が在籍する他園との交流活動を継続して行い、様々な体験活動を積み重ねることで、コミュニケーション能力を図っている。今年度も継続して新型コロナウイルス感染症対策を図りながら人と関わる経験や自分の思いを表現できる場を多く取り入れていきたい。

4 目標・評価

具体的目標P	具体的方策D	達成状況C	具体的な改善の手立てA
<p>◇ 手洗い・うがいの徹底、衣服の着脱、排泄「早寝・早起朝ごはん」等、生活に必要な生活習慣や態度を身に付ける。</p> <p>◇ 生活の中で、様々な環境に積極的に関わり、進んで体を動かし最後まで根気強く頑張ろうとする気持ちを育て、基礎体力の向上を図る。</p> <p>◇ 喜んで絵本の読み聞かせや降園時の話し合いに参加し、教師や友達の話や考えを聞こうとする態度を育てる。</p>	<p>◇ 園生活を意欲的に過ごすことができるように状況に応じて声を掛けたり、個別に援助したりしていく。また、家庭との連携を密に図り協力しながら望ましい生活習慣ができるようにする。</p> <p>◇ 毎日の生活の中で、幼児が自然に体を動かしたくなるような環境構成を工夫し、意図的に体を動かす時間を設けたりする。</p> <p>◇ 1日2冊の読み聞かせや毎日の絵本貸出、絵本の読み聞かせボランティアの活動を取り入れることで、イメージや言葉を豊かにしていく。</p> <p>◇ 教師自身が、幼児の話したいと思う気持ちを大切に受け止め聞くようにする。</p>	<p>◆ 毎日の送迎時や園だより、懇談等を通して感染症流行もあるのでは保護者と連携を取りながら見守ってきた。園生活においては、習慣化してきているが、家庭においては家族に依存してしまうこともあり不十分な面もある。3</p> <p>◆ 園生活の中で、体を動かす活動を取り入れたり、小中学生の真似をしたり、又他園児と一緒に参加した運動遊びに取り組んだりした。3</p> <p>◆ 引き続き市立図書館と連携し、毎月30冊の絵本を借り、毎日の絵本の貸し出しに利用している。絵本の読み聞かせボランティアや教師の読み聞かせを継続していくことで、人前で自分の気持ちを話したり、人の話を最後まで聞けるようになってきている。3</p>	<p>◆ 基本的生活習慣は、小学校以降の生活においても基本となってくるので、幼児期にしっかり身に付けていけるよう、今後とも家庭や小学校と連携を図り、子どもたち一人一人に応じた援助の方法を考えていく。</p> <p>◆ 子どもたちの成長過程に応じて、様々な動きができるよう時間や場の確保をする。</p> <p>◆ 安心して自分の思いや考えを出せるような雰囲気や場、時間などの環境を整える。状況に応じて、教師が言葉を足したり幼児の思いに寄り添ったりしながら、最後まで話し合いができるよう援助をしていく。</p>